

委員会報告

虐待防止委員会

当法人の障害サービス部門において、8月～9月の間に8件の苦情が寄せられました。残念ながらその中に、利用者さんに対する虐待にあたる判断された案件が、7件ありました。大変申し訳ありませんでした。職員への周知を図る為、虐待防止委員会では利用者さんが特定されないように配慮をした上で、苦情内容を抜粋した報告書を作成し、全職員に閲覧してもらいました。

また、当法人では、各事業所毎に障害者虐待防止の職員セルフチェックリストを行なっております。これまで、チェックリストの回収はしていませんでしたが、今回は、今後の虐待防止に向けた取り組みに活かす為回収を行ないました。

この他にも、利用者さんに対して随時アンケートを行ったり、お話しを聞かせていただいたりして再発防止に取り組んでいきたいと思っております。

委員長 池上有希子



危機管理委員会

インフルエンザやノロウイルスの時期が近づいてきましたが、うがい手洗いはきちんと行えていますか？保健所からくる「はやり病の対策」で必ず書かれているのが、うがい、手洗いをしっかりと行う事です。病気はかからないことが大事です。予防をしっかりとしましょう。



危機管理委員会では平成30年度より、にやりとした事、ほっとした事を「にやり・ほっと」という報告書で報告してもらい法人内で共有する事にしました。今回はその中から2件報告させて頂きます。

1件目…毎朝「おはよう♪」の挨拶とハイタッチをしてくださるAさん。ヘアカットしたようで「髪切ったの？」と聞いてみると、かぶっていた帽子を

取って「かっこいい？」と言。「すごい素敵ですね♪カッコいい!!」と伝える。定期的にある、この一連の流れが大好きです。

2件目…朝の送迎時、車に乗り込むとすぐに「昨日、台所で〇〇さんいつもの様に遅い！って怒られたけど、言い返してやったわよ」と、はにかんだ笑顔で話してくれた。その表情がとてもスッキリした様子でどこか誇らしげにも見えて私も思わずにっこりし、朝から爽快な気持ちにさせてもらった。支援を行っていると、ダメなところや直さなければならぬところばかりが目が行きがちですが、日常に潜んでいる「にやり・ほっと」を見つけ共有する事で、皆で幸せな気持ちで作業や支援が出来る様になれればと思っております。

齋藤 隼



大根田さんのつぶやき

わかたけきつずの見学記パートIIを書きつづりましたが、見学してからのあまりに時間が経ちすぎてしまったので、

きつずのことはきつずに任せて、大根田さんは給食についてつぶやきたいと思えます。

とは言いながら、これもきつずに関係があるのですが、きつずが出来たおかげ(?)と言うか、きつずに立派な調理室が出来たおかげで(?)、今までは、わかたけ社会センターの調理室で作られていた給食が、きつずの調理室で作られるようになりました。

わかたけ社会センターのときは、温かいものは温かいままいただきました。しかしきつずで作るようになってからは、主菜になるものは冷やされてから配達されるようになりました。保健所の指導だそうです。配達中の食品に、ばい菌が増殖しないための措置だそうです。クリームシチューや麻婆豆腐、チンジャオロース、鶏肉と野菜のトマト煮、豚肉と豆腐のチャンプル等、温かければどんなに美味しいだろうと想像しながら冷たいおかずをたべています。よく分かりませんが、ばい菌が入らない保温食缶とか無いものでしょうかね？

世界の飢餓について今も1分間に17人(うち子どもが12人)、1日に2万人(うち子どもが12人)、一年間では一千万人が飢えの為に生命を失っていると言うのに、贅沢な吹きですよね!!!

後援会会長 大根田忠雄

